

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

組合設立50年。更なる飛躍を誓って一致団結!



第 43 号

発行日 令和5年1月1日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業・広報委員会
印刷 フジ印刷(株)

誠実 協調 信頼

新年のご挨拶

富士宮建設業協同組合 理事長

(株)大石組 清 哲也



明けましておめでとう
ございます。組合員の皆
様におかれましては、
益々ご清栄にて良き新年
をお迎えになったことと
存じます。

また、日頃より組合事
業並びに運営に多大なご
協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

昨年、新型コロナウイルス
感染症の影響によ
り、2020年春に大き
な落ち込みを経た後、春
先以降はウィズコロナの
下、社会経済活動の正常
化が進みつつあり、サー
ビス消費を中心に回復の
動きがみられてきました。
しかし、ロシアによるウ
クライナ侵略を背景とし
た国際的な原材料価格の
上昇に加え、円安の影響
などから、日常生活に密

接なエネルギー・食品
等の価格上昇が続きまし
た。これは、国民の消費
意欲を下げることも、
企業収益の更なる下押し
による設備投資への影響
が大きいと推測されます。
さらに、地域経済におい
ても例外ではなく、市内
建設業者の経営にも大き
な影響が懸念されていま
す。

また、女性部会による
社会貢献活動として、平
成26年から続けてしまし
た県道414号線、県立
富士特別支援学校富士宮
分校の西側歩道内の植栽
マスへの花や草木の植栽
活動が認められ、静岡県
道路利用者会議 荻田宏
之会長から感謝状をいた
だきました。組合の社会
貢献活動の一環として、
女性部会の皆様の活躍に
は感謝するものです。

また、昨年自然災害
が日本各地で発生しまし
た。その中でも、9月23
日からの台風15号によっ
てもたらされた静岡市清
水区での断水は、広域で
長期的なものとなりまし
た。その結果、住民の生
活や経済活動に多大な影
響を及ぼし、道路、鉄道
などの社会インフラへの
災害も多く発生し、現在
も復旧できていない箇所
も多数あります。自然災
害は、いづどこでどのよ
うに起こるか分からない
ということを改めて認識
させられました。当組合
も平成12年に富士宮市と

災害協定を結び、有事に
おける災害応急復旧など
を担っております。組合
員の皆様におかれまして
は、いづどこで起こるか
わからない災害に対する
準備を、常日頃から心が
けていただきたいと思います。
また、女性部会による
社会貢献活動として、平
成26年から続けてしまし
た県道414号線、県立
富士特別支援学校富士宮
分校の西側歩道内の植栽
マスへの花や草木の植栽
活動が認められ、静岡県
道路利用者会議 荻田宏
之会長から感謝状をいた
だきました。組合の社会
貢献活動の一環として、
女性部会の皆様の活躍に
は感謝するものです。

さて、今年の7月には
富士宮建設業協同組合は、
設立50年の節目を迎えま
す。この50年の間にはオ
イルショック、バブル崩
壊、政権交代に伴う「コ
ンクリートから人へ」の
時代等、建設業にとって

逆風となるような社会環
境の大きな変化がありま
した。この社会環境の変
化により、建設業の就業
者数も平成9年の685
万人をピークに、令和3
年には485万人と20
0万人も減少しました。
さらに、コンピューター
等の電子機器の発展もあ
り、入札制度の改革も進

んだことで、組合員数も
かなり減少してしまいま
した。しかし、当組合と
しましては、「地域密着
型の社会に奉仕する建設
業」を目指し、地域イン
フラの安全的な整備、維
持管理、防災・減災を柱
として活動する「地域の
守り手」としての課せら
れた社会的使命を、今後

も継続していかなければ
なりません。そのためにも
組合員が安定した経
営基盤のもと、一致団結
していくことが大切と考
えておりますので、皆様
のご協力をお願いいたし
ます。

なお、組合設立50年の
節目となる令和5年にど
のような事が出来るかわ
りませんが、これからは
も組合員の皆様のご協力
を賜りながら、組合の結
束をより強いものにして
いければと考えておりま
す。

新年のご挨拶

富士宮市長 須藤 秀忠



新年あけましておめで
とございます。

令和5年の新春を心か
らお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合
の皆様におかれまして
は、日頃から公共事業の
円滑な推進をはじめ、本
市の事業に多大なご協力
をいただいております。こ
とに厚くお礼申し上げます。

また、皆様にとりま
して、今年1年が健康で
希望に満ちた素晴らしい
年となりますよう心から
お祈り申し上げます。

近年、我が国では毎年
のように豪雨災害が頻発
しております。昨年9月に
発生した台風15号の影響
による線状降水帯は、静

岡市では、12時間の雨量
が400ミリを超える豪
雨となり、甚大な被害を
もたらしました。富士宮
市においても道路が寸断
されるなどの被害が発生
し、改めて、災害はいづ
起こるか分からないとい
う強い危機感を持つこと
も常に災害に備える必
要性を感じました。

また、新型コロナウイルス
感染症の蔓延による
影響は、まだまだ社会経
済活動などに大きな支障
を来しております。

建設工事においても、
大変厳しい状況の中では
ありますが、皆様方のご
尽力により、本年度5月
に、児童館「らっこ」が
無事に供用開始の運びと
なりました。

市といたしましては、
様々な災害から、市民の
生命や財産を守り、被害
を最小化するための強靱
なまちづくりをめざす取
組みとして、第5次富士
宮市総合計画後期基本計
画の重点プロジェクトと
して「災害に負けない強
靱なまちづくりプロジェ
クト」を定めました。そ
の災害に強いまちづくり
のためには、災害時に最
前線で地域社会の安全・
安心を担う「地域の守り
手」である富士宮建設業
協同組合の皆様のお力添
えが何よりの頼りとなり

ますので、今後も、変わ
らぬご理解・ご協力を賜
りますようお願い申し上
げます。

結びに、本年も組合員
企業の益々の発展と関係
各位のご健勝とご多幸を
祈念し、年頭の挨拶とい
たします。

今後、市営万野住宅
建設工事、公共施設の長
寿命化事業、道路などの
社会資本整備や各種公共
事業を着実に進めてまい
りますのでよろしくお願
いいたします。

さて、富士宮市は昨年、
市制施行80周年を迎えま
した。こうした中、本市
では、「富士山の恵みを
次世代につなぐ地球にや
さしいまち」を目標に掲

げ、2050年までに本
市の二酸化炭素排出量実
質ゼロを目指す「ゼロカ
ーボンシティ」を令和3
年1月に表明し、その後、
令和4年1月に「富士宮
市ゼロカーボン推進戦
略」を策定しました。本
戦略で掲げた目標を達成
し、ゼロカーボンシティ
を実現するためには、官
民が一体となって、「オ
ール富士宮」で取り組む
ことが必要であります。
そのためには、富士宮建
設業協同組合の皆様が幅
広い発想と技術力、そし
て、確実な実行力が富士
宮市の新たな魅力を引き
出す力になることを大い
に期待しております。

結びに、富士宮建設業
協同組合の益々のご発展
と組合員の皆様のご健
勝、ご多幸を心から祈念
申し上げます。

年頭のご挨拶

衆議院議員

深澤陽



新年明けましておめでとうございます。

旧年中も富士宮建設業協同組合並びに組合員の皆様には大変お世話になりました。

令和4年は新型コロナウイルス感染症がまだまだ続く中ではありましたが、市内では宮おどりや御神火まつり、富士宮まつりをはじめ様々なイベントが再開され、少しずつコロナ前の日常を感じられる場面が増えてまいりました。

コロナ禍の令和2年4月の選挙で初当選をさせていただいて以降、富士宮を感じるイベントが殆ど無かった状況から、やっとその一端に触れられる機会を得られ本当に嬉しく思っております。街づくりも政治も人が関わってこそ中身が充実するものです。私もこれから再開される様々なイベント等にも出来る限り参加し、体中に富士宮の空気を詰め込んで政治活動に取り組んでまいりたいと考えております。さて、昨年は富士宮市と富士市の共同で「富士

富士宮道路建設促進期成同盟会」が設立されました。富士市にとっては国道1号線へのアプローチの早期完成。そして富士宮市にとっては慢性的な渋滞解消のためのハーフインター設置と新たなルートの実現。そのための継続的な予算確保が大きな使命です。

そして北山インターから中部横断自動車道に至る国道469号線の整備に加え、国道469号線のバイパス道路の新設構想にも繋がる期成同盟会の活動でもありと感じております。

新型コロナウイルスに対する国民の理解が深まっており、海外からの水際も緩和されインバウンドの増加が見込まれる中、富士山を目指して来訪される多くの観光客の皆様が快適な移動が出来るよう富士宮市富士市と共に私も全力で努力してまいります。

近年では地球温暖化の影響で、災害が頻発化激甚化しております。昨年は台風15号が静岡県内で大きな被害をもたらしました。幸い富士宮市内では大きな被害はなかったと伺っておりますが、農道林道などでは多少なりとも被害が出ていたのではな

いかと推察致します。異常気象はもはや毎年どこでも起きうる状況となっております。国では「防災減災国土強靱化5か年加速化対策」を5年で15兆円という規模で事業を行っております。また岸田総理大臣は、5か年加速化対策以降の事業の継続が必要であるという認識も表明されております。引き続き、国民の生命と財産を守る様々な事業に取り組みでまいりたいと考えておりますが、ハード整備が進む中で災害が発生したら自分がどのような状況に置かれるのかという事を富士宮市民の皆様にも考えていただきたいと思います。地震、噴火、豪雨等、自分がどこで被災するかで状況が全く変わります。ハード整備だけでは全ては救えません。ハード整備とともに、自助、共助をどうするか。そのような意味で、建設業の皆様も市民の防災意識の向上にもご貢献いただけたら幸いです。



年頭のごあいさつ

富士宮市議会議員

鈴木弘



新年あけまして、おめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より組合員各位の結束と協力のもと、社会基盤の整備や社会貢献活動などを通して、地域社会の発展と安心安全なまちづくりのために、大きな役割を果たしていただいております。ことに厚く感謝を申し上げます。

さて昨年は、変異したオミクロン株によって感染が再拡大する中、世界では、新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、感染防止を図りながら経済を回すポストコロナ、ウィズコロナを掲げ、人々による様々な活動が進み出しましたが、その矢先、ロシアによるウクライナ侵攻という、新たな脅威に直面しました。

力による一方的な現状変更は、断じて許されるものではありません。苦難を強いられるウクライナの人々のために、1日も早い終戦を切望する思いです。また、昨年は8月に東北地方及び、北陸地方を

中心に低気圧の影響による記録的な豪雨が発生し、9月の台風14号、15号では、九州地方や東海地方を中心に各地で河川の氾濫による浸水や土砂災害など甚大な被害が発生しました。

なかでも静岡市清水区では、興津川流域にある取水施設が増水で冠水したことにより、長期間にわたり断水が発生するなど、市民生活に大きな影響が出たことは、身近な地域で起きた災害として、記憶にも新しく、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

なお、富士宮市内においても土砂災害が生じたものの、幸いにも大事には至らず大きな被害にはなりませんでしたが、近年頻発する激甚な災害は、気候変動の影響が少なからず顕在化しているものと考えられ、同様の大規模災害はいつどこで起きるかわからない状況にあります。

そのような災害状況の報道を見るたびに、あらためて私たちの暮らしを守り支えているインフラと、その整備の重要性を強く実感した次第です。

現在、当市では、国が進めている自然災害から国民の生命と財産を守りぬくための防災・減災の考え方に基づき、国土強靱

化を図るため、災害に強い都市整備を積極的に進めており、活気にあふれる安心安全なまちづくりを取り組んでいるところです。

こうした中、道路や河川をはじめとする公共事業と、それを担う地域に精通した建設業に従事する皆様の存在は大変大きく、頼もしく感じており、地域社会にとって、なくてはならない不可欠な存在です。

新年のごあいさつ

静岡県議会議員

木内満



新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。富士宮建設業協同組合の会員各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動へのご協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献をいただいております。ことに、県政に携わるものとして、また一人の市民として心より感謝申し上げます。

市議会といたしましては、貴組合からのご意見や要望等も踏まえ、市当局と連携しより効果的な事業が、これからのしつかりと実施できるような努力をしたいと思います。そのような中、昨年わが市議会では、議員の政治倫理の確立を図るため、清浄かつ公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的とした「富士宮市議会議員

改革会議の政調会長を務めさせていただきました。党三役ということで静岡県全体の党務に忙殺された1年でありましたが、その分多くの経験を積ませていただくことが出来ました。政調会長で得た経験を活かして富士宮の健全な発展のために活かしていく決意をもって県議会議員としての政務に邁進してまいります。

また、政調会長在職中には静岡県知事選挙、参議院補欠選挙、衆議院解散総選挙と大きな選挙が立て続けにございました。会員各位よりいただいたご理解とご指導に対しまして心よりお礼申し上げます。

政調会長として最も重要な職務は県予算の編成であります。令和4年度の静岡県予算では三つの大きな予算を新たに設けることが出来ました。「農

政治倫理条例」を制定し、市議会として信頼回復に向けて、取り組んでいるところです。皆様におかれましては、引き続き、本年も市議会へのご理解、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展並びに皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

林版の県土強靱化対策事業費「安全で美しい県土環境保全事業費」「緊急交通安全対策事業費」の三つです。それぞれ「新規増」「単独」「梓予算」として土木関係予算を総額30億円増額出来たことで、今まで手が届かなかった部分まで整備が行き届くことを期待しています。

「農林版の県土強靱化対策事業費」は農林事務所管轄の山地災害の防止や災害復旧のための予算です。「安全で美しい県土環境保全事業費」は道路や河川の草木の除去や伐採のための予算です。今まで各土木事務所での予算のやりくりでやっていた管理業務を明確に予算化することで、道路整備に充てる予算を増やすことにもつながります。「緊急交通安全対策事業費」は歩行者保護のための路肩改修や区画線の再設置等に使える予算です。何れも今までの予算では手が届きにくかった部分を重点的に手当てすることを目

新年のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長



藤平 大

的としていきます。それぞ
れ令和4年度から2カ年
の予算です。令和5年度
も継続となりますので、
有効に活用出来るよう会
員各位のご指導ご協力を
お願い申し上げます。

や円安は多くの産業に大
きなマイナスの影響を与
えており、建設業におい
ても同様と拝察します。県
の発注単価にも的確に諸
格の変動が機動的に反映
出来るよう指導はしてお
りますが、引き続き皆様と
協議して声をあげ続ける
ようお願いいたします。

新年明けましておめで
とうございます。

富士宮建設業協同組合
の皆様におかれましては
、健やかに新しい年を
迎えられたことと心より
お慶び申し上げます。

また、日頃より国土交
通行政の推進にあたり、
格別のご理解・ご協力を
賜っておりましてことに、
あらためまして厚くお礼
を申し上げます。

一昨年は7月3日に熱
海市伊豆山地区において
発生した土石流災害にお
いて死者27名行方不明者
1名、昨年は台風第15号
により静岡県内で死者3
名の被害を出すなど、各
地において土砂災害によ
り多くの方々と地域に甚
大な被害を及ぼしたとこ
ろです。被害に遭われた
皆様に心よりお見舞いを
申し上げます。

富士砂防事務所では、
熱海市逢初川流域におい

て一刻も早い地域の復興
に資するため、昼夜間わ
ず、流出した溪床堆積土
砂の撤去や応急砂防施設
の建設を行い、現在は新
設砂防堰堤等の今年度内
の完成目標に鋭意進めて
います。事業実施当初は、
大沢川源頭部において実
施してきたヘリコプター
による資機材等の搬送、
無人化施工バックホウに
よる施工などのノウハウ
を活用し、さらには富士
山噴火に備えて備蓄して
いるコンクリートプロッ
クを一時転用して応急砂
防堰堤の建設を行いました。
これら富士宮地先にお
いて実施してきた施工
ノウハウと備蓄資機材を
活用することにより、早
期復興に資することがで
きました。

ことが必要になります。私
は本年4月には選挙を通
じ有権者の審判を受ける
身であります。引き続き
県議会議員として郷土の
ための仕事が出来よう
全力で取り組んで参りま
すので、ご指導の程よろ
しくお願いいたします。

新年のご挨拶

静岡県富士土木事務所長



大塚 義 則

新年明けましておめで
とうございます。

富士宮建設業協同組合
の皆様におかれましては、
新年を健やかに迎えられ
たことと心からお慶び申
し上げます。また、日頃よ
り、本県の社会資本整備
の推進をはじめ、災害発
生時の復旧活動など、地
域の安全で安心な暮らし
の実現に向けて多大なご
協力を賜り、厚くお礼申
し上げます。

また、未だゴールが見
えない新型コロナウイルス
S感染症の蔓延により、
社会経済や県民生活に甚
大な影響が続く中、皆様
には、感染防止と予防対
策を図りながらの工事等
の業務継続に深く敬意を
表します。

今後、さらなる感染
症蔓延の防止と社会経済
活動の早期回復を図り、
持続可能な社会づくりを
進めるためには、多様な
リスクへの備えと、デジ
タル化への対応が求めら
れます。とりわけ、富士
山南西麓においては、大
沢遊砂地に代表される施
設の機能回復（除石等）
が急務です。また、富士
山火山噴火の備えも必要
です。富士砂防事務所
りながら、大沢川を含む

る約47万立方メートルも
の土砂を大沢遊砂地にお
いて捕捉しました。

る約47万立方メートルも
の土砂を大沢遊砂地にお
いて捕捉しました。

いても生産性の向上が重
要となっております。これ
までも取り組んでいるI
CT活用の工事や、コロ
ナ禍という状況も踏まえ
たオンライン化など、各
種技術の一層の普及を進
めてまいります。生産性
を高め「働き方改革」を推
進することにより、深刻
化する担い手の確保や育
成支援にも繋がるものと
期待しています。

新年のごあいさつ

静岡県富士農林事務所長



西室 康 二

新年明けましておめで
とうございます。

富士宮建設業協同組合
の皆様には、健やかに新
年をお迎えのことと、心
よりお慶び申し上げます。
また、平素から、本県の農
林業行政の推進に、ご理
解とご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

本年の干支は、恵みの
水を表す「癸」と、粘り強
さや誠実さを感じる「卯」
の「癸卯」。皆様のこれま
でのご努力が実を結び、
勢いよく成長し飛躍する
年となりますよう祈念い
たします。

さて、近年、地球規模で
進む社会・自然環境の変
化は、私達の生活にも大
きな影響を及ぼしていま

様と協働しながら、多様
な課題に対応すべく、道
路、河川、砂防、都市計画
等の各事業に取り組みと
ともに、整備された公共
施設を最大限に活用する
ために適切な維持管理を
進めてまいります。富士
宮市内においては、都市
計画道路田中青木線（貴
船工区）や、国道469号
（精進川工区）など、新た
な事業を積極的に進める
とともに、これまでの事
業も継続して進めてまい
ります。

こうした事業や取組の
推進においては、皆様の
ご協力が必要不可欠です。
お互いに建設業に携わる
者として、地域への誇
りと愛着、そして、行
動につながる様、今後
も引き続き、地域の社会
インフラ整備に格別なる
ご支援、ご協力をお願い
いたします。

の創造を目指します。

森林部門では、集落間林道事業「林道天子ヶ岳線」の開設工事を実施します。この林道は、天子山系西麓において、富士宮市佐折と上稲子地域を繋ぐ路線であり、森林整備の促進や原木運搬のコスト低減に資するほか、周辺の田貫湖、

新年のごあいさつ

富士宮市都市整備部長 黒川 和洋



白糸の滝等の観光資源へのアクセス道及び災害時の迂回路としての役割も期待されます。治山事業では、令和4年度に創設された県土強靱化対策事業による山腹工事等を内房地区等で実施し、豪雨等により荒廃した溪流や森林を心から祈念し、新年の復旧してまいります。また、

森林（もり）づくり県民税を財源とした森の力再生事業により、引き続き、荒廃森林の再生を進めてまいります。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展と組合員の皆様のご健勝を心から祈念し、新年のあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。また、平素より富士宮市発注の公共事業の円滑な推進をはじめ、災害発生時の迅速な対応等多大なご協力を賜り深く感謝申し上げます。重ねて女性部会の長年の環境美化活動による、道路愛護優良団体の受賞まことに

一昨年の熱海市での土石流災害により「静岡県盛土等の規制に関する条例」が7月より施行されました。富士宮市では500平米500立米以上の盛土については従前より規制してまいりましたが、県条例施行により盛土の規制がより一層厳し



新年のご挨拶

富士宮市水道部長 小林 博之



新年明けましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より富士宮市の上下水道事業に対し、多大なるご理解、ご協力を賜っておりますことにあらためて感謝申し上げます。

さて、令和4年は、5月に菊川市で発生した水道老朽管破損による大規模断水を始めとして、同じく5月には愛知県豊田市の明治用水漏水事故による大規模断水、8月に台風8号の影響による松崎町雲見地区での断水が発生しました。さらに記憶に新しいところでは、9月の台風15号の影響による静岡市清水区の大規模断水など、中部地方、特に私たちに身近な静岡県内において、市民生活に多大かつ長期間の影響を及ぼす断水が発生した年でありました。

幸いにも富士宮市では、大きな断水等につながる被害は受けておりませんが、大雨、落雷等による様々な損害は随所で発生しており、それらの復旧に際しては皆様方の

ご協力もいただく中で大事に至らずに済んでおりますことに、重ねて感謝いたします。

他市町で発生した災害につきましても、いつか本市でも起こりうる我が事と捉え、松崎町及び静岡市には、私ども水道部からも給水車と職員の派遣を行いました。派遣された職員も、被災地支援の一翼を担うとともに、本市が被災した際の災害復旧に活かせる貴重な経験をさせていただいたものと思っております。

世界情勢は、長引くコロナ禍からようやくコロナ前の社会・経済活動を回復するもの、依然として供給網の混乱による物流費、半導体、自動車製造等への影響は払拭されておられません。加えて、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する原油・穀物の供給減によるガソリン、電気代の値上がり、さらに日本では円安の急速な進行により、生活物資を始め、動力費、原材料費、人件費等あらゆる物価が高騰しております。

一方で、台風の大規模化、線状降水帯の発生による気象災害の激甚化など、社会基盤の整備に携わる私たちを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況ではありますが、富士宮市では上水道事業におきまして

は水道ビジョンで「安全」「強靱」「持続」を、下の水道事業におきまして「整備計画の推進」「効果的な施設更新」「安定な事業運営」を、それぞれ基本方針として掲げております。

本年も引き続き、これらの基本方針に基づいて施設の耐震化、長寿命化、老朽管の布設替え等を実施していくことで、第5次富士宮市総合計画後期基本計画に掲げた「安全な水で清潔・快適なまち」の実現に努めて

新年のごあいさつ

事業・広報委員会 担当理事 三尾 祐一



新年明けましておめでとうございます。

統計資料に基づいた分析が恒例と成っておりますので、本年も投稿させていただきます。

●図1の説明

建設業許可業者数（以下単に業者数）は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多いために、3年減少し2年増加する周期で変化してきた。全国では1番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として4年連続増加となった。

●図2の説明

このグラフは2Y軸として左側に全国、右側に静岡県の軸目盛としており、縦軸の単位は違えども、最大値と最小値の差を同率とし、平成12年をグラフ左端最大値としてスタート地点を同一としている。グラフの変化する角度を見れば、緩少角度は全国平均より

●表1の説明

全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移を見れば解るが、前々回の5年間の

まいりますので、今後とも皆様の変わらぬお力添えをお願いいたします。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展と、組合員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平均より急角度だったのが、平成26年を境に傾向が変わってしまい、以後、加速度的に数を減らして来た。3年連続で減少率は1%を切っているものの、来年も業者数が減少する年回りとなるので、注視したいと思う。

●図3の説明

このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の減少率データを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角度で業者数が増加し、平成22年にはグラフの1番上、つまり最大時対比減少率が全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

極端な傾向と成っている都道府県として、グラフの最下段に位置している秋田県は、全国一業者数が減少しており、1番多かった時に比べて34・

77%減と、3分の2以下まで減少している。逆にグラフ最上段の宮城県は、平成23年の東日本大震災以後、業者数が減るどころか連続して増加しており、令和2年には最大時と同数と成るまでに回復し、以後も増え続けている。

●表1の説明
この表は、対前年比減少率を、都道府県順位で並べたものだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年は不名誉ながら減少率全国1位である。令和4年も全国11位と8年連続して減少率トップクラス。

全国平均では業者数の減少は止まり、4年連続で増加に転じているのだが、近年、静岡県では加速度的に減少してきた。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのかは皆さんの判断に任せるが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが、平成26年を境に二分した。

グラフを見る限り減少傾向は止まりつつあるが、昨年から3年間は業者数が減少する年回りとなっているので、注視したいと思う。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていくためにも、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。

(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



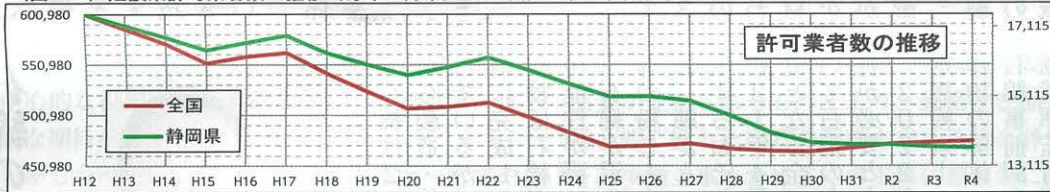
(表-1) 業者数最大時からの推移

全国	業者数	前年比	期間内		期間内
			←業者数最大	平均値	
平成12年	2000	600,980			
平成13年	2001	585,959	-2.50%		-2.50%
平成14年	2002	571,388	-2.49%		-4.92%
平成15年	2003	552,210	-3.36%	-2.78%	-8.12%
平成16年	2004	558,857	1.20%		-7.01%
平成17年	2005	562,661	0.68%	0.94%	-6.38%
平成18年	2006	542,264	-3.63%		-9.77%
平成19年	2007	524,273	-3.32%		-12.76%
平成20年	2008	507,528	-3.19%	-3.38%	-15.55%
平成21年	2009	509,174	0.32%		-15.28%
平成22年	2010	513,196	0.79%	0.56%	-14.61%
平成23年	2011	498,806	-2.80%		-17.00%
平成24年	2012	483,639	-3.04%		-19.52%
平成25年	2013	469,900	-2.84%	-2.90%	-21.81%
平成26年	2014	470,639	0.16%		-21.69%
平成27年	2015	472,921	0.48%	0.32%	-21.31%
平成28年	2016	467,635	-1.12%		-22.19%
平成29年	2017	465,454	-0.47%		-22.55%
平成30年	2018	464,889	-0.12%	-0.57%	-22.64%
平成31年	2019	468,311	0.74%		-22.08%
令和2年	2020	472,473	0.89%	0.81%	-21.38%
令和3年	2021	473,952	1.20%		-21.14%
令和4年	2022	475,293	0.60%	0.90%	-20.91%
		1,341	対前年度増減		



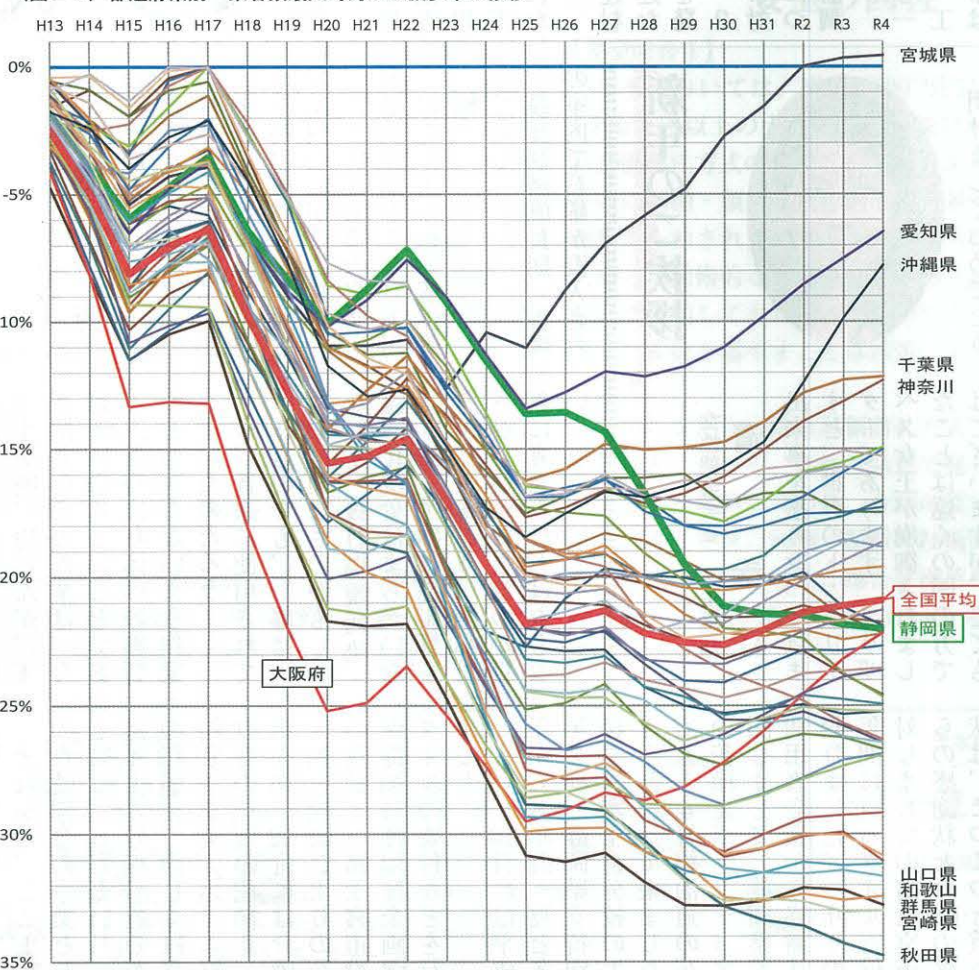
静岡県	業者数	前年比	期間内		期間内
			←業者数最大	平均値	
平成12年	2000	17,477			
平成13年	2001	17,140	-1.93%		-1.93%
平成14年	2002	16,809	-1.93%		-3.82%
平成15年	2003	16,439	-2.20%	-2.02%	-5.94%
平成16年	2004	16,653	1.30%		-4.71%
平成17年	2005	16,860	1.24%	1.27%	-3.53%
平成18年	2006	16,350	-3.02%		-6.45%
平成19年	2007	16,018	-2.03%		-8.35%
平成20年	2008	15,716	-1.89%	-2.31%	-10.08%
平成21年	2009	15,952	1.50%		-8.73%
平成22年	2010	16,222	1.69%	1.60%	-7.18%
平成23年	2011	15,865	-2.20%		-9.22%
平成24年	2012	15,463	-2.53%		-11.52%
平成25年	2013	15,095	-2.38%	-2.37%	-13.63%
平成26年	2014	15,106	0.07%		-13.57%
平成27年	2015	14,972	-0.89%	-0.41%	-14.33%
平成28年	2016	14,552	-2.81%		-16.74%
平成29年	2017	14,070	-3.31%		-19.49%
平成30年	2018	13,782	-2.05%	-2.72%	-21.14%
平成31年	2019	13,730	-0.37%		-21.44%
令和2年	2020	13,721	-0.07%	-1.24%	-21.49%
令和3年	2021	13,658	-0.52%		-21.85%
令和4年	2022	13,628	-0.68%	-0.60%	-22.02%
		-30	対前年度増減		

(図-2) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



※2 Y軸としている両指標ともY軸最大値と最小値の差を同率とし、平成12年をグラフ左端最大値としてスタート地点を同一としている。減少率、グラフの傾きの変化を見比べて下さい。

(図-3) 都道府県別 業者数最大時対比の減少率の推移



順位	最大時対比 減少率	対前年比 減少率順位				
		26年	27年	28年	29年	30年
47	宮城県 0.43%	12	16	8	21	25
46	愛知県 -6.48%	22	7	31	23	12
45	沖縄県 -7.78%	44	39	46	38	8
44	千葉県 -12.17%	47	47	47	47	47
43	神奈川県 -12.31%	21	5	13	2	5
42	岐阜県 -14.94%	31	35	39	19	13
41	滋賀県 -15.03%	46	46	40	35	24
40	大分県 -15.29%	8	21	38	24	14
39	鹿児島県 -16.04%	34	42	4	8	20
38	埼玉県 -17.03%	7	27	11	14	33
37	山梨県 -17.29%	30	23	28	39	36
36	岩手県 -17.49%	41	45	41	37	39
35	熊本県 -18.07%	16	31	21	17	30
34	福岡県 -18.64%	38	38	35	42	43
33	香川県 -18.85%	11	6	10	13	1
32	三重県 -19.62%	13	11	15	9	7
31	長崎県 -20.89%	17	24	16	27	15
30	広島県 -21.28%	3	10	18	10	16
29	山形県 -21.76%	26	36	34	15	26
28	福島県 -21.89%	19	13	9	5	4
27	静岡県 -22.02%	18	18	33	33	22
26	大阪府 -22.18%	28	2	1	1	2
25	茨城県 -22.20%	43	41	44	41	44
24	福井県 -22.21%	35	34	17	28	29
23	東京都 -22.67%	37	25	19	25	34
22	愛媛県 -23.55%	4	17	3	22	17
21	兵庫県 -23.64%	42	43	37	46	46
20	青森県 -24.59%	23	37	29	40	42
19	新潟県 -24.65%	24	15	7	18	21
18	石川県 -24.94%	32	12	20	26	3
17	高知県 -25.23%	1	29	27	7	18
16	北海道 -25.25%	2	3	2	12	11
15	鳥根県 -26.32%	33	28	26	36	35
14	富山県 -26.43%	5	26	12	34	31
13	佐賀県 -26.44%	15	4	5	6	7
12	栃木県 -26.70%	40	33	23	3	6
11	鳥取県 -26.88%	39	14	43	30	37
10	岡山県 -26.92%	29	32	32	29	23
9	京都府 -29.18%	10	9	24	20	41
8	徳島県 -30.86%	20	20	25	31	32
7	長野県 -31.07%	14	22	36	11	19
6	奈良県 -31.18%	6	8	22	16	38
5	山口県 -31.65%	36	30	14	45	40
4	和歌山県 -32.45%	9	19	45	43	28
3	群馬県 -32.79%	25	1	6	4	10
2	宮崎県 -33.00%	27	40	30	32	27
1	秋田県 -34.77%	45	44	42	44	45
	全国平均 -20.91%					

新年のごあいさつ

総務・金融委員会 委員長 河原崎建設(株)



河原崎 利光

新年明けましておめでとうございます。組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より当組合の運営においてご理解を賜り誠にありがとうございます。

長らく続くコロナ禍により、首都圏を中心に働き方改革が推し進められ、リモートワークが増え、それを機に地方移住を検討する人が増加しています。なお、富士宮市のご尽力により、最大180万円移住・定住奨励金制度等サポートを頂きました。また市の人口増を期待できる支援策ではないでしょうか。

念願でありました、都市計画法用途地域における建築率・容積率の見直しが行われ、本年実施されるということで非常に感謝しております。これにより、今まで単世帯住宅しか建てられなかった土地に二世帯住宅の建築が可能となり、様々なメリットが生じられると思います。

雄大な富士山を見ながら生活をしたいと考える移住者が、市内北部上井出から猪之頭方面にかけて徐々に増えてきているようですが、市街化調整区域のため移住希望者を受け入れられる要件がある宅地や住宅が不足していると聞いています。都市計画法・農地法・空き家対策措置法・農業促進法等の緩和が必要になるのではないのでしょうか。

日本ではコロナ禍、原油高、半導体不足、円安により厳しい経済状況ですが、さらに昨年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻により世界が甚大な影響を受けてしまいました。

電気・ガス・燃料を皮切りに値上げが始まり、工事材料等すべての分野にしわ寄せが来ており、今後さらに値上げが進むようであれば、単品スライド条項に替わる新たな制度が必要になるのではないのでしょうか。

毎年日本のどこかで災害が起こりますが、昨年9月23日夕方から24日明け方にかけて本州に接近した台風により、線状降水帯が発生し記録的な大雨をもたらしました。特に静岡県では記録的短時間大雨情報多数発表が何度も繰り返され、複数の地点で24時間雨量が400ミリを超えて今年の9月1か月分の雨量を上回り、観測史上1位を更新しました。各地では、土砂崩れによる断水・鉄塔倒壊による静岡市中心部停電・新幹線及び東海道本線運休による帰宅困難者・高速道路通行止め

が発生しました。また、清水区中心部を流れる巴川氾濫により580棟の床上浸水、県内床上床下浸水合計6,646棟が被害にあり、水没車輻は3,000台にもなり、保険会社の査定に数か月かかるそうです。このように昭和49年七夕豪雨以来の甚大な被害が起こりました。この度の災害に際し被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。災害に備え、必要かと思えます。その際は微力ではありますが、私共組合員各社の技術と経験で社会に貢献させていただきます。ご多幸をお祈りいたします。

組合員の皆様及び関係各位の、ご健勝とご多幸をお祈りいたします。

佐野 裕康 土木・舗装委員会 委員長 拓進建設(株)



新年のごあいさつ

土木・舗装委員会 委員長 拓進建設(株)

新年明けましておめでとうございます。

昨年中も関係各機関の皆様、組合員各社の皆様、委員会の皆様には大変お世話になりました。

2020年より猛威を振るうコロナウィルスの終息の兆しが国内ではみられず、人々の生活、生命を危険に晒しています。それに加えて東欧の国同士の争いにより、世界の生活面においても価格高騰などの悪影響を及ぼしています。また、我々の建設業界においても最近の円安も相成ってエネルギーの価格上昇に伴って、製造、加工、輸送コストに影響を及ぼし、建設資材の日々の高騰に頭を悩ませる次第であります。

ある建設資材会社の責

任者の方とお話しさせていただいた時に2023年にも資材の販売価格の上昇を考えていると言われました。その建設資材会社は製造業なのですが、エネルギー価格の上昇が直接的に運転コストに影響してしまおうそうです。

コスト削減を迫る為、製造機械の低コスト機への入れ替えや、深夜に機械稼働させて深夜電気料金を削減を考えていると言われています。また、人件費を抑えるため、機械を倍の大きさの機械にし、人員削減にもつなげたいとも言われています。

我々建設業は製造業とは違いコスト削減と言っても、工期短縮、無駄を無くす、ICT活用等があります。基本的な人間資本であり深夜の割引料金はありません。

今、建設業はエネルギーとそれに伴う建設資材価格の高騰、慢性的な人

石綿の取扱い

建築・安全委員会 委員長 宮鉄建設(株)



遠藤 秋芳

最近一段と石綿の取り扱いが厳しくなった。

石綿は2006年9月から製造・使用が禁止されているが、それより以前に完成した建築物・工作物は石綿が使用された可能性が高い。

石綿が混入された建材等の粉じんを、吸い込むと、肺がん・中皮腫を発生するおそれがある。2021年4月から工事対象となる全ての部材について石綿の有無の事前調査が必要となる。

2022年4月から一定規模以上の建築物・工作物の解体・改修工事は石綿事前調査の結果を労働基準監督署へ報告義務がある。

2023年10月からは、石綿事前調査を有資格者に限る。建築物石綿含有率調査者・日本アスベスト調査診断協会登録者

手不足、コスト削減にまで手が回らないのが実情ではあります。未来のため、地域の皆様が安心して生活できるように今を耐えていかなければなりません。

本年も皆様にとって良い1年でありませうように。という言葉で締めたいと思います。

明けておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

一向に終息の様子が見られないコロナですが、こんな時はじっくりと腰を据え下へ下へと根を張り地を固め、何が一番大切か、何をすべきなのかを内省する時を持つのも良いのではないかと考えています。そしてこの難局を会員の皆様と一緒に笑顔で乗り越えて参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年の世の中の

新年のご挨拶

女性部会会長 (株)大石組 清 幸江



た建材を、防護具もないまま切断、粉じんが、まき散る中で作業は、今思えば恐ろしいことである。当時は身体への影響などわからないまま作業していたのだろう。

今、普通に使用されているものでも、一部は大変な危険なものかもしれない。後日環境汚染・温暖化現象はまちがいない。人体・生物に悪影響を与えるであろう。今私たちが、何ができるのか真剣に考えなければならぬ。

また、10月には平成26年から8年間、夏と冬の年2回、静岡県立特別支援学校富士宮分校の生徒さんと行って来ました。県道414号線沿道の花壇の花植えボランティアに關しまして、静岡県道路利用者会議から感謝状を賜りました。一昨年の30年間に亘るタオル寄付に對しましての富士宮市からの感謝状と今回の感謝状は、こつこつと重ねてまいりました清らかな奉仕の心と努力の賜物かと思われまます。女性部会の皆様方のご協力に心よりお礼申し上げます。また次はもっと上の賞を目指しましょうと会員の方々から一層熱い声が上がっております。

本年度も信頼、協調、誠実を旗印に頑張つてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

お願ひ申し上げます。



市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議員 鈴木 弘様

要望書

日頃より、富士宮市政発展のため日々の多大なるご尽力に心より敬意を表すとともに、富士宮市制80周年を迎えたことにお祝いを申し上げます。また、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わるとともに、公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、近年の気候変動の影響により豪雨や大雪等の自然災害も年々激甚化・頻発化し、南海トラフ地震等の大規模地震は切迫しています。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが一斉に老朽化しています。

このような事から国は総合的な土砂災害対策の加速化・強化、豪雨、地震、大雪等災害時における人流・物流の確保、盛土による災害防止、インフラ老朽化対策等による持続的なインフラメンテナンスの実現に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築するとしています。

また、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略がエネルギー・資材等の価格高騰を招き、この先も世界情勢や物価動向等の見通しは大変難しい状況であります。このように、地域建設業の安定的な継続も大変な時代となってまいりましたが、安全・安心に暮らせるまちづくりの中心的な役割を果たす産業として、建設業には大きな期待が寄せられています。

しかしながら、一方では担い手の確保・育成や生産性の向上、働き方改革など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続き積極的な取り組みが求められています。

このような状況の中、我々建設業協同組合は「地域密着型の社会に奉仕する建設業」を目指し、地域インフラの安定的な整備・維持管理、防災・減災を柱として活動する「地域の守り手」として、また地域の安全・安心を確保する「公的な任務の担い手」として課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのためには、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が必要であります。

これらのことを踏まえ、若者が将来を託すことが出来る「魅力ある建設業」として持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保と、より一層の予算の拡大をお願い申し上げます。

これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、組合訓であります「信頼・協調・誠実」を合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政



9月6日(火)に組合副理事長3名と事務局で富士宮市役所を訪ね、須藤秀忠富士宮市長、鈴木弘市議会議員に次の内容の要望書を提出しました。

河原崎副理事長は冒頭、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略が世界経済に甚大な影響を及ぼしており、地域経済においても例外ではなく、市内建設業者の経営に影響のないように迅速かつ柔軟な配慮をお願いしました。

さらに、引き続き、地域の社会資本整備や維持管理、災害対応を担う私達地域建設業は、依然として厳しい経営環境下にあ

ります。近年頻発に発生している自然災害などへの防災・減災対策や働き方改革を推進させるには、まずは地域建設業の安定した事業経営を確立することが必須であると考え、市のご理解と協力をお願いしました。

10月20日(木)の当組合の理事会に、富士宮市役所契約管理課長、契約係長、工事検査課長に出席いただき、要望について富士宮市として、適正な競争による適正価格での受注及び適正な履行の確保等を十分に検討したうえでの回答であるとの説明を受け、その後意見交換をおこないました。

と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、下記事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

記

要望事項1

公共工事は、施工者の技術力等により安全性や品質が左右されるものであり、価格及び品質が、総合的に優れた内容の契約を求める総合評価方式を、少額工事も含め多くの工事に積極的に活用さ

れるよう、強く要望致します。

要望事項2

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略が燃料油や工事材料等の価格高騰を招いていることから、工事請負契約約款の単価スライド条項に関する手続き方法、書式等の明確でわかりやすい資料を示していただきたい。

令和4年9月6日
富士宮建設業協同組合
理事長 清 哲也

要望の回答

【要望回答1】

当市においては、原則2,500万円以上、抽出で1,200万円以上の土木一式工事及び舗装工事を総合評価落札方式の対象としておりますが、平成28年度に同種・類似の技術的な審査基準について静岡県から示されたこともあり、現在は、この基準に沿った技術的な差異がつく工事を総合評価落札方式で実施しており、対象金額を引き下げることにより件数を増やすことは困難であると考えております。

しかしながら、総合評価落札方式は公共工事の品質確保の点から、価格と品質で総合的に優れた発注方式と理解しており、今回の要望事項を踏まえ、工事主管課に同種・類似の技術的な審査基準を改めて周知するなど、総合評価落札方式での発注件数の増加に努めていきたいと考えております。

【要望回答2】

国土交通省から、「工事請負契約書第26条第5項(単品スライド条項)運用マニュアル(案)」が通知されております。

また、静岡県からは、「静岡県建設工事請負契約約款第25条第5項(単品スライド条項)運用マニュアル(案)」が通知されております。

富士宮市での単品スライドの方法は、県の運用マニュアルを準用しておりますので、方法や書式等については、県のホームページにある運用マニュアルを参照してください。

なお、詳細については、別紙の実施フローを参照し、事前に担当監督員に御相談ください。

HARDWARE

富士宮の建築金物と工具のプロショップ
和泉屋カネコー
静岡県富士宮市北町17-8 TEL(0544)24-6136 FAX(0544)23-2901

あなたを守る保険のパートナー

三井住友海上HGA代理店
株式会社 エージェントうさみ

エージェントうさみは、保険という仕事を通じ、人と人が助け合い、支え合う安全で安心な地域づくりを目指します。

〒418-0061 静岡県富士宮市北町2-21
TEL 0544-26-3565 FAX 0544-28-0656
https://agent-usami.com/

日本産業規格表示認証工場

エーユー生コン株式会社

代表取締役 加藤 雄二

〒418-0112 静岡県富士宮市北山字貫間508番地
電話・出荷 (0544)58-0707
事務所 (0544) 58-6482・事務所 (0544) 58-0709
試験室 (0544) 58-0708・FAX (0544) 58-0632

県民の生命・財産を石材で守る

株式会社 後藤 代表 TEL.(0544)66-0165 FAX.(0544)67-0147

誠意を品質に託して TC 0306079

後藤碎石販売株式会社

砕石部 TEL.(0544)66-0501 FAX.(0544)67-0147
試験業 TEL.(0544)57-0353 FAX.(0544)29-3765
生コン部 TEL.(0544)67-0510 FAX.(0544)67-0560

女性部会活動

☆支援学校・花植え
令和4年6月27日(月)
11月28日(月)

11月28日(月)



させていたいておりま
す。

夏花の植替えは、15名
の皆様の参加協力を
得て、ベゴニア
217本・ポーチ
ユラカ220本、
そして、シニア(百
日草)220本の
3種類657本を
植えました。今回
は、花壇の整備(冬
花の伐根や腐葉土
の散布など)から
日にちが経ってお
り、草が出始めて
おりましたので、
目立つ草を抜く作
業から開始しました。支
援学校の生徒さんは、無
口で黙々と作業をこな
し、額から流れる汗を拭
いながら、次から次へと
花を植えていきます。生
徒さん8人と共に作業を
進めていきましたが、ウ
イズコロナの関係上、マ
スク着用で行う作業は、
暑さも倍増し、これまで
で一番大変な作業だった
かも知れません。

県道414号線(旧国
道139号線)沿いの「植
えます」事業の花苗(夏
花・冬花)の植え替え作
業に、それぞれ参加協力
いたしました。これは、
富士宮市環境部花と緑と
水の課が、県立富士宮北
高等学校及び県立特別支
援学校富士宮分校へ依頼
し、年2回学校の生徒さ
んが植え替え作業を行っ
ている事業です。道路沿
いには大小合わせて19個
の花壇があり、北高が北
部分8個を支援学校が南
部分11個をそれぞれ担当
しています。女性部では、
毎回、支援学校の生徒さ
んが授業の一環として行
う花植え作業のお手伝い

今回は通算で15回目の
参加となりましたが、組
合からの参加者は、これ
までの最多となる15名と
なりました。猛暑の中ご
参加いただき、心より感
謝申し上げます。
冬花の植替えも夏同様



に、予定された花壇11カ
所へ、ピオラ216本・
パンジー720本の苗を
植え替えました。曇天模
様でしたが、暑からず寒
からずの花植えにはベス
トな状態でした。夕方か
ら雨が降り始め、次の日
の29日には、夜には大雨

警報が出たくらい荒天
に変わりました。実施日
がもズレていたら、ど
うなっていたことでは
しょう。女性部の皆様の日頃
の行いが、この結果をも
たらしてくれたのだと思
います。

作業の開始前と終了後
には、生徒さんを含めた
参加者全員が並び挨拶を
します。「お願いします」
から始まり「ありがとう
ございました」で締めく
くられますのが慣例です
が、今回は少し違って
ました。支援学校富士宮
分校が開校10周年記念に
作成したクリアア
フイルや、生徒さ
んお手製のキーホ
ルダーをいただいた
のです。突然の
サプライズに参加
者一同感激をして
いました。

お忙しい中での
ご参加に対し、心
よりお礼申し上げます。
また、奥様
だけではなく、従
業員の皆様の参加
について、ご配慮
を下さいました組
合員の皆様にも感
謝の気持ちでいっ
ぱいです。

19カ所の花壇に
は色とりどりのパ
ンジーとピオラが
植えられて、沿道
を行き交う皆さん
の癒しになってく
れることではし
ょう。また、ドライ
バーの方々の心に
余裕を生み、事故
減少に少しでも役



6日前の10日には、清
会長と塩川幹事及び事務
立てばと願っています。
来春までは、黄色やオレ
ンシ・紫・赤等、様々な
色をまとい、元気に咲き
続けてくれることでは
しょう。

この活動のおかげで、
感謝状をいただきました
。受賞につきましては、
12ページをご覧になっ
て下さい。

☆特養・花植え

令和4年11月16日(水)

富士宮市上井出にあり
ます特別養護老人ホーム
「富士宮荘」を訪問し、
花壇の花植え及びプラン
ターなどを設置いたしま
した。

寒さが厳しくなるかも
知れないという予報に反
して、小春日和のような
快晴のお天気となり、太
陽の日差しをいっぱい
浴びながらの作業とな
りました。参加者の中には、
寒さに備えて厚着をさ
れてきた方が多く、「暑い
暑い!」を連呼してお
りました。

当日はまず、小石の撤
去作業から開始しまし
た。なかなか全部を取り
除くことは難しいので、
目立つものを撤去して、
花植え作業に取り掛かり
ました。中央に富士山を
描いていくのですが、そ
のために富士山を形取る
どめどめシートを埋め込
んでいきます。これまで
に、「せせらぎ広場」の
花壇でも使用しているの
で、皆さん慣れたもの
で、シートのとがった先
端を土に差し込んでいき
ます。これで、富士山の
外枠が決まりました。形
に合わせて、下部
分には紫色の花
を、上部分には雪
に見立てた白色の
花を置き、いった
ん花壇から離れて
みます。花の間隔
など全体をチェッ
クし、一気に植え
ていきます。花壇
の大きさは、縦2
m・横8mになり
ますが、これまで
大きな花壇の花植
えを経験していま

局職員により、花
壇へ苦土石灰と肥
料を散布しまし
た。土は、施設の
方が柔らかく耕し
てくださったので
すが、想像以上に
小石が多く、それ
を撤去するのに時
間がかかってしま
いました。全部は
取り切れないの
で、残りは花植え
当日に行うこと
になりました。



今回、10社12名の参
加をいただきました。お
忙しい中でのご参加、あ
りがとうございました。
心より感謝申し上げま
す。

玄関横のプランター5
台は、(株)大石組さんが担
当してくださいました。
プランターにはそれぞれ
4本の苗を植え、白色を
2台・黄色を3台作成し
ました。さらには、大き
な鉢の寄せ植えを玄関わ
きに設置しました。

富士山の右横と左横の
スペースには、赤の金魚
草を中央に置き、周囲に
黄色のパンジーをあしら
い、可愛い花のリース風
に仕上がりました。あっ
という間に、花壇へ24
4本の花植えが終わりま
した。

日本産業規格認証取得工場
コンクリート用砕石及び砕砂

静甲工業(株)

本社/〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 699-1
TEL (0544) 65-1000 内
南部工場/〒409-2303 山梨県南巨摩郡南部町十島 2450
TEL (0556) 67-3201 内

太陽建機レンタル株式会社

富士宮支店

静岡県富士宮市西小泉町 23-1
TEL: 0544-26-5011
FAX: 0544-28-0102

田口建材株式会社

代表取締役 田口 敏 寛

事務所 静岡県富士宮市村山 269-1
TEL (0544) 23-6262 ~ 3
FAX (0544) 27-1020

[未来を切り拓く技術]とともに[安全]と[安心]をお届けする

株式会社 富士宇部

代表取締役 宮地 隆 次

〒421-3304 静岡県富士市木島258番地
(富士工場) TEL. 0545-56-0030 Fax. 0545-56-2801
(工事部) TEL. 0545-56-0032 Fax. 0545-56-2800
(本社) TEL. 0545-56-0033 Fax. 0545-56-2800

ティアを行いました。当日は、最低気温4℃となり、車のウィンドウがうっすら凍るくらいの寒さとなりました。しかし、作業を行う10時頃には、日差しもあり日向で花植えをしましたので、心地よい体感温度となり



ました。花を植える方とプランタースタンドを組立てる方と別れましたが、あつという間に作業は終わり、最終工程として、花植えしたプランターを、玄関と玄関横のスロープ

に設置します。その際ですが、チョツとしたアクシデントが起きました。プランターが1台足りないのです。数を確認して材料を搬入したはずなのに？皆さんで搜索を開始するとすぐに原因が分かりました。プランターが

2台重なっていたのです。すると、もう1台足りないというところで、また搜索です。今度は重なっていたのではなく、別の場所に花植えした状態で置かれていました。これで、やっと全部が揃い設置完了です。

今回の花植えは、花壇ではなく、全てプランターと鉢植えになりました。それは、施設側から、いろいろな催しを行う際に、プランターを移動し、多種多様に使用出来たらという要望があったからです。女性部で行っています

設により規模や考え方が様々ですので、100%は無理かもしれませんが、少しでもご希望に近い形で行うことを常に心がけてきました。年末のお忙しい中、10社12人のご参加をいた

きました。ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。日頃、お世話になって

「かりんの家」「楓の丘」「にしき」「高原荘」「百恵の郷」「外神陽光園」「星の郷」「しらいと」と1年に1カ所を行って

は、富士宮市古紙等リサイクル活動団体に登録してあり、キロ

☆古紙売却 令和4年11月1日(火) 女性部役員と組合事務局で、組合倉庫に保管してありました古紙を業者

に値上がりし、雑がみに関してはキロ2円で価格変動はありませんでした。

組合女性部は、富士宮市古紙等リサイクル活動団体に登録してあり、キロ

は、登録が削除されてしまっています。もう少し倉庫に集めて売却したいところですが、最低でも2年

に1回は活動を行う必要があります。捨ててしまえばゴミになっ



☆タオル寄贈 令和4年12月9日(金) 組合員の皆さんからお寄せいただきましたタオル

1社あたり15枚以上の提供をお願いし、350枚の寄贈を毎年目標にして

きな力になるのではと思っております。富士宮市のデータによりますと、令和2年度は、252の

今後もしも引き続き活動して参りますので、組合員皆様のご協力をお願いいたします。分別や組合への持込み方法等、疑問が

います。タオルを寄贈するということは、タオルと共に皆さんの一人一人のお気持ちも、一緒に届けさせていたたくということ

【ボランティア活動は個人の自発的な意思に基づき、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、社会においてはその活動の広がりによって、社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な

令和3年12月には、これまでにタオルなどの多くの物品を寄贈したため、市長より「感謝状」を受賞いたしました

難しい事であると思



◎資源を大切にしよう 建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号 再生砕石販売 富士宮建廃協同組合 静岡県富士宮市山宮961-10 事務所 TEL (0544) 58-4785 プラント TEL (0544) 58-4072

子供の頃のような、あふれる想像力で... あなたのこころをカタチにします。 MIND CREATION~こころをカタチに 前田道路株式会社 富士合材工場 〒417-0846 静岡県富士市今井434-1 TEL (0545) 33-0627 FAX (0545) 33-0630 合材・常温合材・路盤材・乳剤販売 AS塊・CO塊受入

建設、土木資材、CO・ASガラ、土木工事請負 丸工砂利販売株式会社 〒418-0036 静岡県富士宮市沼久保398番地 TEL:0544-27-2097 FAX:0544-23-3761 HP-URL:https://marue-gp.com

重機土木工事一式・各種骨材販売 解体工事・建設廃材収集運搬 静岡県(般)63-第23160号 (県)第9201045463号 株式会社 丸喜建材 富士宮市山宮961-10 TEL (0544) 58-2154 FAX (0544) 58-6385

優良工事受賞者

静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2022年に表彰された皆様を紹介します。

(株)井出恒組

静岡県交通基盤部 維持管理業務部門

令和3年度(一)富士宮富士公園線ほか道路維持(小規模修繕委託)業務委託(第7工区)
(単価契約)

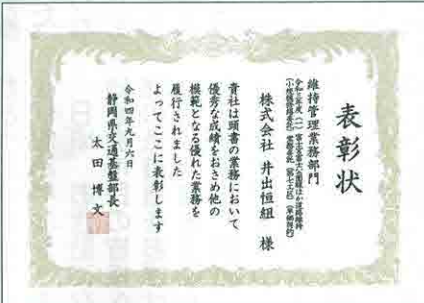
代表取締役…増田 隆俊
現場代理人…増田 智昭
主任技術者…増田 智昭



着工前



完成



富士宮市建設工事表彰 優秀賞

令和2年度社会資本整備総合交付金事業
1級市道出水新梨線改良工事

無双建設(株)

代表取締役…加藤 史郎
現場代理人…植松 秀明
主任技術者…植松 秀明



富士宮市建設工事表彰 優秀賞

令和3年度(仮称)富士宮市立児童館建設工事

(株)旭建設

代表取締役…石川 哲也
現場代理人…松本 信行
主任技術者…清 勇貴



富士宮市建設工事表彰 優秀賞

令和3年1級市道富士宮駅中原線
ほか1路線改良工事

代表取締役…増田 隆俊
現場代理人…小長谷浅治
主任技術者…望月 昇



富士宮市建設工事表彰 優良賞

令和3年度農道北山19号線改良工事

(株)小松建設

代表取締役…小松 實
現場代理人…望月 正次
主任技術者…望月 正次



国土交通省中部地方整備局 工事成績優秀企業認定

(株)小松建設

代表取締役 小松 實

当組合員である(株)小松建設さんは、国土交通省中部地方整備局長より、令和4年度工事成績優秀企業認定を受けました。

工事成績優秀企業の認定は、同成績評定の透明性確保と民間事業者の技術向上を図るために実施しているもので、ランキングした241社のうちから、過去2か年に完成した国土交通省中部地方整備局発注の土木工事(港湾航空部関係を除く)の工事成績評定の平均点が、80点以上となった81社が認定を受けました。

静岡県内では22社が認定され、その中で富士宮市からは、(株)小松建設1社のみです。昨年に続き2年連続認定となりました。

この認定により、ヘルメットや名刺に掲示することができ、一目で優秀な事業者であると分かることから、会社全体の意識向上につながると考えられます。



建設業労働災害防止協会静岡県支部表彰 事業場賞

令和3年度(主)富士富士宮
由比線ほか舗装補修工事
(切削オーバーレイ工)作業所

加瀬澤組(株)

表彰状
事業場賞
貴事業場は労災協会で労働災害の防止に務め、全工期無災害の優秀な成績を挙げられたことは他の模範と認められます。ここにその御努力に対し深く敬意をあらわし表彰いたします。

令和4年10月28日

建設業労働災害防止協会静岡県支部
支部長 石井 源一





富士宮建設業協同組合の 1年の活動

令和4年

第58回清掃運動

令和4年4月17日(日)
21日(木)

毎年「環境美化の日」に実施されている清掃運動を、今年度は市内各地域で4月17日～21日まで5日間市内全域で展開されました。

重点日である4月17日(日)の清掃運動には、市内124区の3万3,204人の市民が参加し、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。

私達の組合からも18、19日の2日間、皆様の協力により17台のダンブが出動し、市の中からた土砂処理36・76トン(27台)、路線清掃による可燃物・不燃物、不法投棄「ミミ」65トン(18台)の搬出を行いました。

機密文書処理 リサイクル システムの活用

平成30年7月1日にコアレスクス信栄株式会社さんと「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員さんがリサイクルシステムの活用をスタートさせ、5年目の令和4年は7月・12月に活用し、合計86箱(890kg)の機密文書の処理を行いました。

これからも、機密文書の適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。

道路愛護

令和4年8月5日(金)

8月は、道路愛護月間となっております。毎年この行事に参加しています。

例年同様に外神東公園付近の一級市道押出長穴線・粟倉外神線沿いの枝の伐採、路肩の草刈り、清掃等を市管理課、



本組合員、近隣事業所が参加し、総勢37名により実施いたしました。

本組合員からは11名が参加し、草刈りや街路樹等の剪定に汗を流しました。参加された組合員の皆様、本当に暑い中をご苦労様でした。

防災訓練

令和4年8月19日(金)

富士宮市総合防災訓練の一環として、災害時相互応援に



係る情報伝達訓練として、協力要請および出動要請に係るメール伝達訓練を実施しました。

令和4年9月1日(木)
当組合としては、平成12年8月31日に富士宮市と締結した「災害時の緊急協力に関する協定書」に基づく災害時の協力がスムーズに対応できるよう、組合員の災害対策区域割区域の確認、出動要請方法等についての訓練を実施しました。

また同日は、富士宮市災害対策本部と当組合との無線連絡訓練も実施しました。

道路パトロール業務

令和3年度の富士宮市道路

点検維持補修業務の実績は、路面の穴埋め1,352箇所、路面の剥離箇所補修2,475箇所、側溝の清掃56箇所、側溝蓋の騒音防止等268枚、草刈除草・街路樹剪定45路線、カーブミラー修整55枚となっております。

これからも、市民の皆様の大切な道路を安心・安全のために日々パトロールし、迅速な対応に努めてまいります。皆様からの情報もお待ちしています。

ゴルフコンペ開催

令和4年6月23日(木)

組合員の親睦を深めるため毎年恒例のゴルフコンペを、小田急西富士ゴルフ倶楽部に於いて8名の参加により開催いたしました。結果はつぎの通りです。

優勝：(株)三与建設 林吉彦
準優勝：(株)大石組 清英基

令和4年10月18日(火)
令和4年2回目の親睦ゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて10名



望月明彦

の参加により開催いたしました。

優勝：(株)三与建設 林吉彦
準優勝：組合事務局

ホームページ
富士宮建設業協同組合
https://fujinomiya-kensetsu.com/
E-mail:miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp
皆様からのアクセスをお待ちしております
〒418-0005 富士宮市宮原470-5
TEL.0544-27-5526

組合員を募集しています!!
入会希望の方は上記迄。

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式

株式会社 丸 芳

代表取締役 佐野 裕 亮

〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1
TEL (0544) 27-6048(代)
FAX (0544) 27-8068

人と環境にやさしいものづくり

各種アスファルト合材製造・販売 常温合材
アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理

株式会社 リサイクル芝川

〒419-0315 静岡県富士宮市長貴551-1
TEL (0544) 65-0850・FAX(0544) 65-1882

watanabe
株式会社 渡邊

県知事許可(般-28)第21303号
代表取締役 渡邊 智 司

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16
TEL(0544)24-5123 FAX(0544)23-3715
https://www.pro-watanabe.co.jp

感謝状の受領

令和4年9月27日(火)

平成26年から8年にわたり静岡県立富士特別支援学校富士宮分校と実施してきました環境美化運動(ボランティア活動)を評価され、静岡県道路利用者会議から、「感謝状」をいただきました。通常ですと、富士土木事務所が授与式が行われるのですが、コロナの関係で富士宮市において伝達式が行われ、清会長と小松相談役が組合女性部を代表して出席しました。須藤市長より感謝の言葉をいただき、



ともに、感謝状を拝受してききました。席上で清会長は、「今回の拝受を励みにして、『信頼・協調・誠実』の組合訓のもと、ボランティア活動の一環として、環境美化へ積極的に取り組んでいきたい」と話しました。これは、8月の「道路ふれ

あい月間」の一環として、道路愛護に尽力している団体や個人を、道路利用者会議が表彰しているものです。前日の26日には、知事褒章や国土交通大臣表彰に輝きました団体の市長報告会が行われたそうです。



支援学校花植えボランティア活動への昨年の参加者は、夏花15人(6月27日)・冬花12人(11月28日)という多くの皆様に参加協力をいただきました。15人という数は、これまでで一番多い数字です。初めてこのボランティア活動に参加した平成26年には、事務局を含め4人の参加者しかおりませんでした。それが、5人・6人・7人と回を増すごとに少しずつ増えていき、

皆さんは、年齢も20代から70代と幅広いですが、いつも和気あいあいとされていて、家族のように感じます。お忙しい中での参加協力に対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

現在では、12社から10人前後の方々毎回参加してくれるようになりました。参加者の



富士宮建設業協同組合役員および組合員名

【役員】

相談役

株森下建設

森下孝一

理事長

株大石組

清哲也

副理事長

河原崎建設(株)

河原崎利光

株丸進建設

塩川進

株三与建設

三尾祐一

理事

株小松建設

小松實

株坪井組

坪井孝文

株丸進建設(株)

遠藤秋芳

株山本組

山本篤

株渡邊建設

渡邊定賢

監事

株加瀬澤組

加瀬澤理

株拓進建設(株)

佐野裕康

【組合員】

(アイウエオ順)
令和5年1月1日現在

株旭建設

石川哲也

株イシカワ

石川亨

株井出恒組

増田隆俊

永将建設(株)

永田正二

株大石組

清哲也

株権工務店

佐野郁男

株加瀬澤組

加瀬澤理

株川俣組

佐野孝

河原崎建設(株)

河原崎鉄平

株小松建設

小松實

株丸進建設(株)

齊藤宗一

株佐野藤建設(株)

佐野哲也

株鈴木組

鈴木統太

株大栄建設

伊藤重治

株拓進建設(株)

佐野裕康

株地成建設(株)

望月敏雄

株坪井組

坪井孝文

株坪井土工建

坪井多恵子

株光建業(株)

佐野義光

株丸進建設

塩川進

株三与建設

三尾祐一

株宮鉄建設(株)

遠藤秋芳

株無双建設(株)

加藤史郎

株明德建設(株)

河西幸一

株株森下建設

森下孝一

株株山本組

山本篤

株株渡邊建設

渡邊定賢

編集後記

事業・広報委員会 委員長
(株)坪井組

坪井孝文



新年明けましておめでとうございませす。「広報 建設ふじのみや」の発刊に際し、寄稿頂きました皆様並びに広告掲載に協賛頂きました各会社様、また組合員の皆様のご協力には深く感謝申し上げます。

昨年中は急激な円安や生活必需品及び材料の値上げ、海外情勢など多数の変化がございました。中でも安倍晋三元首相の銃撃事件のような衝撃な出来事もありました。そのような中、富士宮市では藤井聡大元と広瀬章人八段を迎え「竜王戦七番勝負」の対局が行われ、おやつ選びと共に明るい話題となりました。

さて今年の干支は兔です。古事記に登場する「因幡の白兔」というお話があります。因幡の白兔(サメの説もあり)を騙して因幡の国に渡った白兔が騙された事がばれてしまい毛をばき取られてしまいます。苦しんでいる兔に嘘のアドバイスをする八十神たち。それに対して正しい治療を教えるオオクニヌシ。後に八上比売(やかみひめ)と結ばれます。

因果応報、うまくいっている時でも自惚れない謙虚な姿勢であれば海を渡るという、目的も傷を負わず果たさず、この教訓を生かし謙虚な気持ちで忘れないように1年を過ごしたいと思えます。余談ですが白兔というのは神話時代にこの地方を治め信望の高かった兔のごとく穏やかな一族でその一族が航海を業とし、沿海をおびやかしていた和邇(わに)と呼ばれていた賊と戦ったとも考察されているようです。

新しい年が組合員の皆様にとって実りの多い1年となりますようお祈り申し上げます。